

令和2年度第3回 福知山市立図書館協議会 議事録（要旨）

開催日時：令和3年3月18日15時00分～16時34分

開催場所：福知山市立図書館中央館 研修室

出席委員：神谷委員長、仲野副委員長、赤井委員、山路委員、足立委員、安川委員、木村委員、
芦田敦委員、西村委員

欠席委員：正木委員、善積委員、芦田信委員

事務局：浅田館長、森本次長、大槻次長、塩谷係長

傍聴者：なし

議題：（1）令和2年度図書館事業報告について

- ・新たなバリアフリーサービスの実施状況について
- ・「暮らしに読書を、おうえん事業」の実施状況について

（2）「第3次福知山市子どもの読書活動推進計画」の策定について

（3）「令和3年度社会教育の重点」について

1 開会挨拶：神谷委員長

2 前回議事録の承認

3 協議事項

（1）令和2年度図書館事業報告について

～資料「令和2年度図書館事業報告」に基づき、事務局から説明～

事務局：今年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら、各種事業を実施した一年となりました。今年1月中旬から2月にかけて京都府に緊急事態宣言が発出された際、イベントは実施見合わせとしましたが、開館時間には影響なく図書館4館の運営を行ってまいりました。

・新たなバリアフリーサービスの実施状況について

昨年12月から開始した新たなバリアフリーサービス「図書館資料の宅配サービス」については、市長定例記者会見とプレスリリースによる広報、障害者福祉課との共催によるバリアフリー資料の特別展示、社会福祉協議会や身体障害者団体連合会や視覚協会など各種団体等へ出向いてサービスの説明を行い、当事者に情報が届くよう周知に力を入れてまいりました。本日現在のバリアフリーサービス利用登録者は、高齢の方を中心に11名、図書館資料宅配サービスの利用は3件となっています。今後は、療育手帳をお持ちの方などの若い世代のニーズを把握して、さらなる充実を図っていきたいと考えています。

・「暮らしに読書を、おうえん事業」の実施状況について

1月14日から開始した「暮らしに読書を、おうえん貸出セット」については、当初から4セット増の74セットとなり、3月からは予約受付も開始しました。昨日時点の貸出状況は、子ども向けセットが45セット中27セット、大人向けセットが29セット中13セット、計40セットが貸出となっています。今後の課題としては、絵本や児童書の「低学年向けセット」に人気が集中していることから、「高学年向けセット」や「大人向けセット」をより多くの方に利用していただけるよう、広報に努めてまいります。また、子ども向けセットを利用された団体からは「本がきれいすぎて、扱いに気を遣う」ことから2回目の貸出しを躊躇されている団体もある。春休みに向けて、放課後児童クラブや児童館、児童センター等でご活用いただきたいので、委員の皆様のお近くで「利用してみたい」との声がありましたら、ぜひ図書館にお繋ぎいただきますよう、お願いいたします。

委員：きれいな本に気を遣わなくても良いように、古い本を混ぜてはどうか。

事務局：テーマや年齢別に職員が選書して貸出セット用に揃えたものであり、次第に経年劣化していくと考えている。読書の楽しみが少しずつ浸透して、小さな図書館があちこちでできるよう、息長く続けていくことが大事であると考えている。

(2)「第3次福知山市子どもの読書活動推進計画」の策定について

事務局：第2回協議会でご報告しましたように、本年1月6日から実施したパブリックコメントの結果を踏まえて、第4回策定委員会で最終とりまとめをいただき、2月16日の教育委員会議で策定を承認いただきました。令和3年度から5年間、この計画に基づいて子どもと本をつなぐ様々な事業に取り組んでまいります。策定にあたっては、この協議会から仲野副委員長様、赤井委員様に策定委員として携わっていただき、貴重なご意見、ご提案を頂きましたことをご報告いたします。

「第3次福知山市子どもの読書活動推進計画」6ページに基本方針、7～8ページに計画推進体制が掲載されています。取組みの実施状況は、引き続き「子どもの読書活動推進連絡会」で実績報告を取りまとめ、図書館協議会で報告いたします。15ページ～16ページには第3次計画における図書館での具体的な取組みを載せています。新たな取組みは次のとおりです。

- ・移動図書館の資料の充実を図るとともに、「暮らしに読書を、おうえん貸出セット」の推進
- ・出張おはなし会を拡充し、新たな図書館利用者の開拓を進める
- ・障害者手帳や療育手帳を持つ子どもへの宅配貸出しサービスを広報して、活用を進める

第3次計画では、これらの新しい取組みとともに、これまで実施してきた事業を改善しながら進めてまいりますので、委員の皆様におかれましても、それぞれのお立場でご協力いただきますようお願いいたします。

委員：前回と比較して、今回の計画の特徴はどういったところか。

事務局：基本方針に変更はないので、さきほど報告した新たな取組みを加えたところになる。これを行えば子どもが本を読むようになる、といった特効薬はないので、第1次計画をベースに地道に続けてきた事業に新しいことを積み重ねてきたものである。ひとりでも多くの子どもにたくさん本を読んでもらえることを目標に計画を進めていきたい。

委員：すくすくひろばでは、夜に読みきかせをすることを保護者に勧めている。一緒に本を読むきっかけにもなるので、ブックスタートのプレゼント本のタイトル等を教えてほしい。

事務局：1階おはなしのへやに、平成15年からのブックスタート歴代プレゼント本のリストを置いている。プレゼント本は2年に1度、ボランティアさんに選定をお世話になっている。今年4月からは、ひろかわさえこさんの「ぷちとまとちゃん」になります。また、昨年10月から、図書館職員が選んだ年齢別のおすすめ絵本リストを、館内で配布している。そちらも参考にしてください。

(3)「令和3年度社会教育の重点」について

事務局：前回協議会で、「社会教育の重点」の図書館の重点目標について検討いただき、令和3年度版ができたところです。前回協議では4点目について、「・・・また地域活動を支援し・・・」としていましたが、「・・・また地域活動を支援する場として・・・」といった表現に修正させていただきました。この5項目により、来年度の図書館活動を推進していくことを報告いたします。

4 閉会挨拶：仲野副委員長